



100th
Anniversary

これからも ず～っとしんきん感

第100期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

業務報告書／ミニディスクロージャー誌

にいかわ信用金庫



ごあいさつ

会員および地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。当金庫は本年3月31日をもって第100期事業年度を終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

また、当金庫は地域の皆様に支えられ、今年9月に創立100周年を迎えることとなり、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

■金融経済環境

経済環境をみると、コロナウイルス感染抑制と経済活動の両立が進み、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られる一方、世界的な資源高・原材料高等による物価の上昇、海外中央銀行の金融引き締め政策等により、海外の景気減速リスクも浮上するなど、先行きの不確実性が依然として高い状況にあります。

当金庫の営業エリアである富山県内においては、物価高、海外景気の減速懸念などに注視する必要があるとしながらも、個人消費や設備投資は持ち直しの兆しを見せているほか、雇用・所得環境も緩やかに回復しております。一方、当地域製造業の生産は持ち直しの動きが一服するなど、力強い回復には至っていない状況にあります。

金融環境においては、世界的な物価上昇が続いていることに伴い、欧米の中央銀行が「金融緩和政策の解除」から「金融引締め政策」へと舵を切る動きが加速しました。我が国もこうした動きと無縁ではなく、昨年12月には、日本銀行が政策金利の誘導目標を引き上げたことから、国内でも長期金利等が上昇し、一時1ドル150円まで円安が進んだ外国為替は、(内外金利差の縮小予想等から)年度末には130円台前半まで円高が進むなど、不安定な状況が続いております。

こうした状況はしばらく続くものと思われませんが、物価高や供給制約等の影響が和らげば、国内経済も再び回復基調に向かうと考えられます。当金庫としても、お客様とこの状況を乗り切っていくために、事業や家計の悩みなどを共有させて頂き、寄り添いながら支援を行ってまいります。

■当金庫の事業概況

預金積金残高につきましては、コロナウイルス感染抑制による行動制限が緩和されつつあるも、引き続き要求払預金を中心に、預金積金全体では前期比38億円増加し、1,793億円となりました。

貸出金につきましては、一般法人向けはコロナ関連制度融資等の利用により増加した一方、地方公共団体向け貸出の減少等により、前期比7億円減少し、679億円となりました。

収益の状況につきましては、貸出金利息の減少を経費削減で補ったこと、②余資運用利息収入(預け金および有価証券利息配当金)が増加したことから、本業利益を示すコア業務純益(一般企業の営業利益に相当)は、2億52百万円と8期連続の増益となりました。

また、与信費用の減少により経常利益は2億円18百万円、当期純利益は2億円10百万円と増益となりました。

■事業の展望および対処すべき課題

事業環境を見渡せば、①人口や事業所の減少に伴う顧客基盤の縮小、それに伴い競争環境が高まっていること、②人手不足等から人材獲得が徐々に厳しさを増していること、③国内外の金融政策や市場動向が不安定であることなどから、今後の展望は楽観できる状況にはないと考えております。

このような中、当金庫が対処すべき課題として、①「お客様の課題や悩みを自分事と捉え、解決策と一緒に考えられる人材の育成、必要なスキル・知識の向上(組織的な課題解決力向上)」、②「組織の生産性・効率性を高め、お客様との時間を増やすこと(顧客接点の向上)」、③「他の金融機関と異なる価値を提供すること(独自性の追求)」、④「そのために、従来の仕事に対する取組み方、ものごとの考え方の延長から脱却すること(変革意識)」が挙げられます。

当金庫は本年9月、創立100周年を迎えますが、これはお客様の支えなくしてたどり着くことはできなかった大きな節目であります。また、環境変化の激しい時代にあっても、地域に根差した金融機関として、当金庫の使命は変わることはなく、次の100年に向けて気を引き締めて業務に邁進していく所存ですので、今後ともご指導・ご鞭撻を頂きたいと存じます。

令和5年6月

理事長 岸 和雄

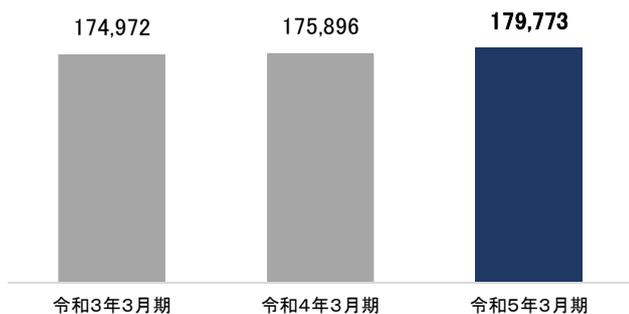
第100期 業績ハイライト

【預金積金・貸出金の状況】

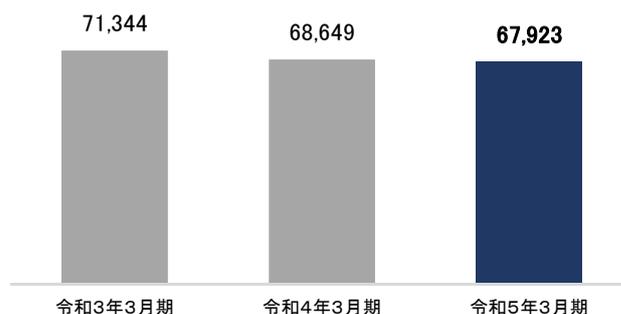
■預金積金は、コロナウイルス感染抑制による行動制限が緩和されつつある中、引続き要求払預金を中心に増加した結果、前期比38億77百万円増加しました。

■貸出金は、一般事業者向けがコロナ関連制度融資等により増加したものの、地方公共団体向け貸出等が減少した結果、前期比7億25百万円減少しました。

預金積金の状況
(百万円)



貸出金の状況
(百万円)

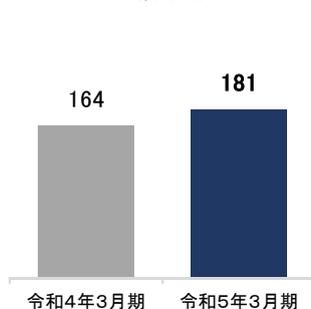


【収益の状況】

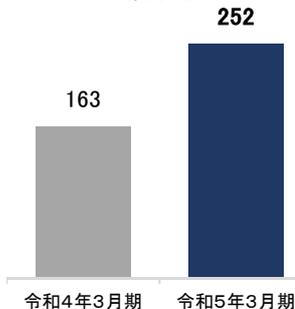
■業務純益は、資金運用収益の増加や継続的な経費節減により、前期比17百万円増の1億81百万円となったほか、本来の事業活動の利益を示すコア業務純益についても、8期連続増益の2億52百万円となりました。

■また、与信費用は前期から大幅に減少した結果、経常利益は前期比1億67百万円増の2億18百万円、当期純利益は2億10百万円と大幅な増益となりました。

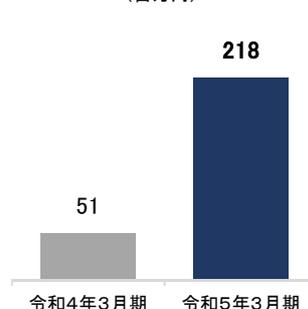
業務純益
(百万円)



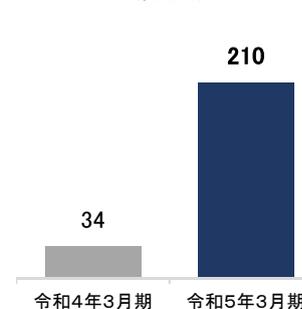
コア業務純益
(百万円)



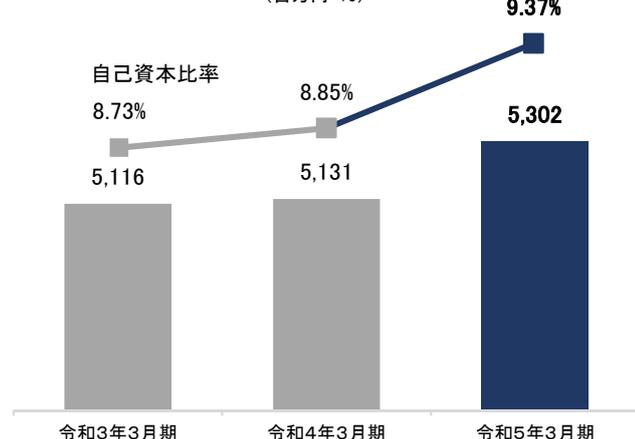
経常利益
(百万円)



当期純利益
(百万円)



自己資本額・自己資本比率の状況
(百万円・%)



【自己資本の状況】

■自己資本額は、当期利益が大幅に改善したことから、前期末比1億71百万円増加の53億2百万円となりました。

■自己資本比率は、自己資本額の増加により、前期比0.52ポイント上昇の9.37%まで改善し、国内基準で定められた4.00%を上回る水準を確保しております。

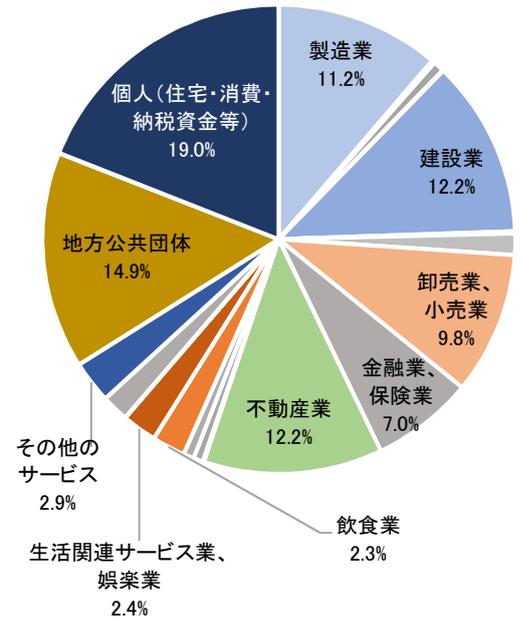
【貸出金業種別内訳】

(単位:百万円)

	令和4年3月期		令和5年3月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	7,200	10.49%	7,630	11.23%
農業、林業	132	0.19%	141	0.21%
漁業	426	0.62%	515	0.76%
鉱業、採石業、砂利採取業	139	0.20%	34	0.05%
建設業	7,631	11.12%	8,289	12.20%
電気・ガス・熱供給・水道業	104	0.15%	95	0.14%
情報通信業	-	-	-	-
運輸業、郵便業	938	1.37%	1,004	1.48%
卸売業、小売業	6,413	9.34%	6,658	9.80%
金融業、保険業	4,764	6.94%	4,763	7.01%
不動産業	8,778	12.79%	8,312	12.24%
物品賃貸業	35	0.05%	58	0.09%
学術研究、専門・技術サービス業	421	0.61%	444	0.65%
宿泊業	517	0.75%	494	0.73%
飲食業	1,576	2.30%	1,540	2.27%
生活関連サービス業、娯楽業	1,621	2.36%	1,619	2.38%
教育、学習支援業	11	0.02%	12	0.02%
医療、福祉	1,321	1.92%	1,260	1.86%
その他のサービス	2,026	2.95%	1,984	2.92%
地方公共団体	10,955	15.96%	10,153	14.95%
個人(住宅・消費・納税資金等)	13,634	19.86%	12,910	19.01%
合計	68,649	100.00%	67,923	100.00%

貸出金業種別内訳

(令和5年3月期)



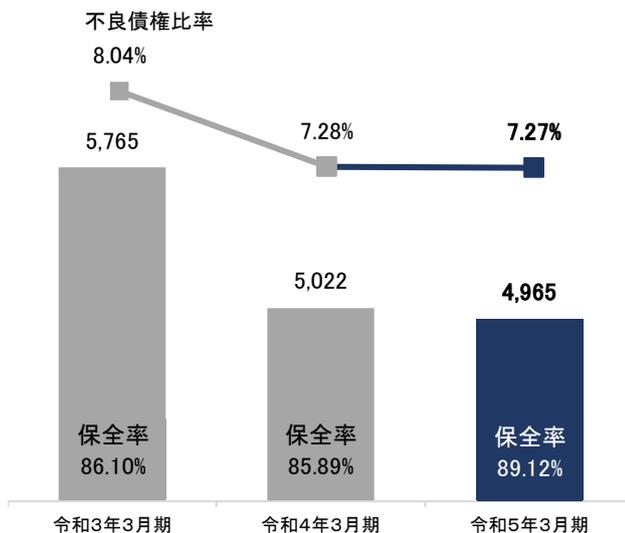
【不良債権の状況】

■金融再生法に基づく不良債権額は49億65百万円となりました。内訳は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が21億38百万円、「危険債権」が24億18百万円、「要管理債権」が4億7百万円となりました。

■不良債権比率は7.27%とほぼ横ばいとなりましたが、不良債権に対する保全率は89.12%と3.23ポイント改善いたしました。

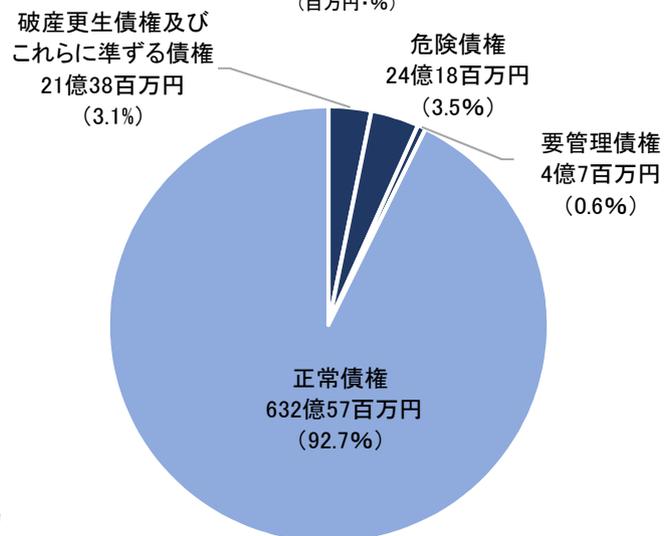
不良債権の状況

(百万円・%)



開示債権の内訳

(百万円・%)



第100期 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
現 金	1,756	預 金 積 金	179,773
預 け 金	66,081	当 座 預 金	4,277
有 価 証 券	45,751	普 通 預 金	101,021
国 債	12,508	貯 蓄 預 金	127
地 方 債	5,860	通 知 預 金	-
社 債	15,456	定 期 預 金	69,759
株 式	32	定 期 積 金	3,745
そ の 他 の 証 券	11,892	そ の 他 の 預 金	842
貸 出 金	67,923	そ の 他 の 負 債	104
割 引 手 形	401	未 決 済 為 替 借	32
手 形 貸 付	4,673	未 払 費 用	14
証 書 貸 付	59,080	給 付 補 填 備 金	0
当 座 貸 越	3,767	未 払 法 人 税 等	1
そ の 他 資 産	1,026	前 受 収 益	12
未 決 済 為 替 貸	13	払 戻 未 済 金	0
信 金 中 金 出 資 金	696	資 産 除 去 債 務	1
前 払 費 用	4	そ の 他 の 負 債	41
未 収 収 益	197	賞 与 引 当 金	28
そ の 他 の 資 産	114	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	39
有 形 固 定 資 産	2,110	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	13
建 物	576	偶 発 損 失 引 当 金	22
土 地	1,406	繰 延 税 金 負 債	28
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	127	債 務 保 証	157
無 形 固 定 資 産	49	負 債 の 部 合 計	180,166
ソ フ ト ウ ェ ア	17	(純資産の部)	
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	31	出 資 金	503
前 払 年 金 費 用	144	普 通 出 資 金	503
債 務 保 証 見 返	157	利 益 剰 余 金	4,801
貸 倒 引 当 金	△1,394	利 益 準 備 金	506
(うち個別貸倒引当金)	(△1,248)	そ の 他 利 益 剰 余 金	4,295
		特 別 積 立 金	4,039
		(経営安定化積立金)	(250)
		当 期 未 処 分 剰 余 金	256
		会 員 勘 定 合 計	5,305
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△1,866
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△1,866
		純 資 産 の 部 合 計	3,439
資 産 の 部 合 計	183,605	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	183,605

第100期 損益計算書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

科 目	金 額	
	千円	千円
経 常 収 益		1,701,576
資 金 運 用 収 益	1,460,862	
貸 出 金 利 息	956,920	
預 け 金 利 息	113,802	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	368,321	
そ の 他 の 受 入 利 息	21,817	
役 務 取 引 等 収 益	178,392	
受 入 為 替 手 数 料	70,024	
そ の 他 の 役 務 収 益	108,367	
そ の 他 業 務 収 益	5,765	
国 債 等 債 券 売 却 益	891	
そ の 他 の 業 務 収 益	4,873	
そ の 他 経 常 収 益	56,556	
償 却 債 権 取 立 益	43,492	
そ の 他 の 経 常 収 益	41	
経 常 費 用		1,483,277
資 金 調 達 費 用	8,794	
預 金 利 息	8,544	
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	250	
役 務 取 引 等 費 用	126,165	
支 払 為 替 手 数 料	21,846	
そ の 他 の 役 務 費 用	104,319	
そ の 他 業 務 費 用	71,928	
国 債 等 債 券 売 却 損	71,734	
そ の 他 の 業 務 費 用	194	
経 費	1,262,798	
人 件 費	794,016	
物 件 費	426,980	
税 金	41,801	
そ の 他 経 常 費 用	13,589	
株 式 等 償 却	192	
そ の 他 の 経 常 費 用	13,396	
経 常 利 益		218,299
特 別 利 益		-
特 別 損 失		2,062
固 定 資 産 処 分 損	647	
減 損	1,415	
税 引 前 当 期 純 利 益		216,236
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,512
法 人 税 等 調 整 額		3,988
法 人 税 等 合 計		5,500
当 期 純 利 益		210,736
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		45,326
当 期 未 処 分 剰 余 金		256,062

【有価証券の時価情報】

■ お客様からお預かりした預金は、地域の皆様へ融資しているほか、格付けの高い有価証券(国債、社債等)などのリスクを限定した安全な資産で運用しております。

■ なお、令和4年度においては、米国中央銀行による継続的な利上げや日銀の金融政策修正に伴い、市場金利が上昇(債券価格は下落)した結果、有価証券の時価は前期比で大幅に下落しました。

(単位:百万円)

【その他有価証券】	種 類	令和4年3月期			令和5年3月期		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	22,091	21,643	447	13,226	12,957	268
	国 債	4,764	4,613	150	2,708	2,614	94
	地 方 債	5,053	4,958	95	4,395	4,340	55
	社 債	12,273	12,071	201	6,121	6,002	119
	そ の 他	1,605	1,591	14	206	205	1
	小 計	23,697	23,234	462	13,433	13,163	269
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	13,532	14,023	△ 491	19,985	21,079	△ 1,094
	国 債	10,270	10,744	△ 473	9,799	10,741	△ 941
	地 方 債	419	423	△ 3	849	870	△ 20
	社 債	2,842	2,855	△ 13	9,335	9,467	△ 132
	そ の 他	10,122	10,652	△ 529	10,386	11,427	△ 1,041
	小 計	23,655	24,676	△ 1,021	30,371	32,507	△ 2,136
合 計		47,352	47,911	△ 559	43,804	45,670	△ 1,866

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

【満期保有目的の債券】	種 類	令和4年3月期			令和5年3月期		
		貸借対照表 計上額	時価	差 額	貸借対照表 計上額	時価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	674	697	23	614	630	15
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	500	502	2	-	-	-
	小 計	1,174	1,200	25	614	630	15
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	800	794	△ 5	1,300	1,266	△ 34
	小 計	800	794	△ 5	1,300	1,266	△ 34
合 計		1,974	1,994	20	1,914	1,896	△ 18

- (注) 1. 時価は期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

第100期 剰余金処分

科目	金額
当期末処分剰余金	256,062,836 円
剰余金処分別	210,067,202 円
普通出資に対する配当金(年2%)	10,067,202 円
特別積立金	200,000,000 円
繰越金(当期末残高)	45,995,634 円

上記のとおりであります。

令和5年6月



理事長 岸 和 雄

常務理事 本 多 敏 明

常勤監事 佐 藤 健 生

常勤理事 貫 名 昭 人

員外監事 坂 井 浩

理 事 四十物 直 之

監 事 小 泉 昌 雄

理 事 大 愛 高 義

理 事 星 名 照 彦

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、河村拓栄公認会計士の監査を受け、適法意見の監査報告書を受領しております。

第100期 通常総代会決議

令和5年6月9日開催の当金庫第100期通常総代会において、下記のとおり決議されました。

記

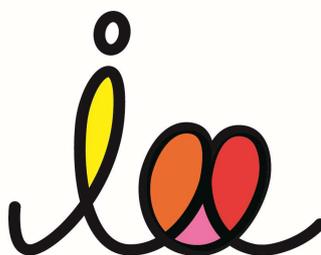
【報告事項】

- 第100期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
本件は、業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容を報告いたしました。

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 会員資格解除に関する件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 理事7名選任の件
本多敏明、貫名昭人、四十物直之、大愛高義、星名照彦が再任され
船屋和芳、中村悟が新任されました。
- 第4号議案 監事1名選任の件
七澤久徳が新任されました。
- 第5号議案 退任理事に対し退職慰労金及び死亡弔慰金贈呈の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第6号議案 総代候補者選考委員28名選任の件
本件については、原案どおり承認可決されました。

にいかわ信用金庫は2023年9月に創立100周年を迎えます。



これからもず～っとしんきん感

100周年記念のロゴマークは、100の1を「お客様と一緒に未来へ歩む人」を、100の00の部分はお客様への変わらない愛情をハートで表現しました。
それらを全部「ひとつなぎ」で表現することで、お客様との強い絆、つながりを表しています。

トピックス（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

令和4年

- 4月 ・ 成人年齢引下げに応じた目的型ローンとカードローンの取扱いを開始しました。
- ・ 各種補助金申請・計画書の作成等に対するコンサルティング業務を開始しました。
- 5月 ・ 魚津市の片貝川流域水循環遺産活用事業に賛同し、片貝「川の駅プロジェクト」に参加しました。
- 6月 ・ 5店舗（入善支店、泊支店、水橋支店、新庄支店、富山支店）で、窓口営業休止時間（1時間）を導入しました。
- ・ 入善高校農業科の生徒が育てた「花の苗」を信用金庫の日（6月15日）にフロアサービスとしてご来店のお客様に配布しました。……………①
- 7月 ・ 「14歳の挑戦」で、魚津市内の5人の中学生が信用金庫の仕事を体験しました。
- 8月 ・ 3年ぶりの開催となった「せり込み蝶六踊り街流し」（魚津市）、「入善音頭まち流し」（入善町）に参加しました。……………②
- ・ 入善高校生発案の「飲む募金」「天然水「RED」」をフロアサービスでご来店のお客様へ配布しました。……………③
 - ・ 夢発見とやま企業魅力体験で、桜井高校生13人の企業体験研究に協力しました。
- 10月 ・ 学校法人荒井学園「新川高等学校」で来春卒業を迎える生徒109人を対象に初の金融教育セミナーを行いました。……………④
- ・ 持続的な社会の実現に向けた企業活動の取組みを紹介する「新川地域SDGs推進セミナー」で当金庫の活動を紹介しました。
 - ・ お取引先のSDGsの普及・推進に向けたサポートを目的として、三井住友海上保険様と包括連携協定を締結しました。
 - ・ 片貝山ノ守紅葉まつりにて「しんきんカフェ」を出店し、地域との交流を深めさせて頂きました。
- 12月 ・ 子育て費用に悩みや不安を抱えるシングルマザーを応援する取組み「シンママエール」を開始しました（相談窓口の設置、専用ローン商品の取扱い等）。……………⑤
- ・ 11月からご来店のお客さまや取引先企業に食品の無償提供を呼びかけ、全営業店で お預かりした食料品を各地域の社会福祉協議会を通じて、支援が必要なご家庭にご提供させて頂きました。……………⑥

令和5年

- 1月 ・ お取引先に対するインボイス制度導入に向けたサポートとして、魚津税務署の協力を得て説明会を開催しました。



営業区域と店舗のご案内

■当金庫では、県内全域の活性化を通じた地方創生、さらなるお客様への利便性向上を目的として、営業エリアを富山県全域としております。



【店舗のご案内】

■ 本店営業部	魚津市双葉町6-5	TEL 0765-24-1155
■ 魚津駅前支店	魚津市釈迦堂1-13-11	TEL 0765-23-1211
■ 桜井支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 生地支店(※1)	黒部市生地548	TEL 0765-56-8122
■ 入善支店(※1)	下新川郡入善町入膳5444-3	TEL 0765-72-0143
■ 泊支店 (※2)	下新川郡朝日町泊418	TEL 0765-82-0246
■ 水橋支店(※1)	富山市水橋辻ヶ堂135-3	TEL 076-478-1151
■ 新庄支店(※1)	富山市向新庄町1-1-2	TEL 076-451-5158
■ 富山支店(※2)	富山市西町7-6	TEL 076-421-2455
■ 滑川営業部	滑川市四間町693-1	TEL 076-475-3121

※1 11:30~12:30の間、窓口営業を休止させていただいております

※2 12:30~13:30の間、窓口営業を休止させていただいております



富山県魚津市双葉町6番5号

TEL. 0765-24-1214(代) FAX. 0765-24-6277

URL <https://www.shinkin.co.jp/niikawa/>